

中村隆志名誉教授記念号の刊行にあたって

学長 和田 健夫

中村隆志先生は、1973年に北海道大学工学部電気工学科を卒業され、同大学大学院工学研究科に進学されました。1975年に修士課程を修了した後、6年間の民間会社での勤務を経て、1981年に本学商学部管理科学科（1991年10月から社会情報学科）助手として赴任、1985年に同講師、1986年に同助教授、1994年に同教授となられ、2014年3月に定年退職されました。定年後2年間の特任教授期間を含め、35年の長きにわたり、本学の教育研究や大学運営に多大の貢献をなされました。

大学運営の面では、2000年4月～2002年3月、2006年4月～2008年3月、2010年4月～2012年3月と通算6年にわたり社会情報学科長を務められました。とりわけ、1989年1月に旧計算センターを情報処理センターに改組した際には、システム仕様書策定委員会のメンバーとして準備段階から参画され、情報処理センター発足後は同センター員、同副センター長、そして1997年1月～2000年7月には同センター長に就任されるなど、情報処理センターの立ち上げ時から組織運営に尽力されたことは特筆に値するものです。

中村先生の専攻分野は、システム工学です。新交通システム、生産システムなど、確率的に状態の変動するシステムの分析・評価に関する研究で多くの業績を挙げられました。それらは、たとえば、「マルコフ連鎖モデルによる個別軌道輸送システム2バース駅の解析（共著）」（電子通信学会論文誌(A), Vol. J67-A, No. 12, 1984年）, 「マルコフ連鎖によるトランスファ型自動生産システムの解析－1段階2機械モデル－（共著）」（同Vol. J68-A, No. 2, 1985年）, 「マルコフ連鎖による1段階グループ型自動生産システム機械部の特性解析（共

著)」(日本オペレーションズリサーチ学会論文誌Feb-30, 1987年),「複数窓口同時サービス並進待ち行列の入力制御」(商学討究41巻4号, 1991年),「一般化確率ペトリネットによる有限容量同時並進サービス待行列のモデル化」(同52巻4号, 2002年)などです。そして,これらの研究により,1987年,北海道大学から工学博士の学位を授与されました。

教育の面では,中村先生は,学部では,「情報処理」,「計画数学」,「社会情報入門」の講義と「研究指導」を,大学院では,「マネジメント・サイエンスⅠ」(現代商学専攻博士前期課程)を担当されました。講義の中で長く担当された「情報処理」では,プログラミング中心の授業が行われました。これは,履修者が自分で学ぶ気がなければ修得できない科目であるため,先生は,履修者にプログラムへの興味を持たせる様々な工夫を試みたということです。「研究指導(ゼミナール)」では,先生のご研究に関連するテーマ(「確率システムのモデル化と解析に関する研究」)のもとに,理論の修得と応用研究が行われ,多くの学生が育っていきました。28年間の間に143名の学生を指導されました。

長きにわたる本学へのご貢献に改めて感謝申し上げるとともに,一層のご活躍を祈念しております。